（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

No.1　　嬉野市議会議員　　山口　忠孝

開催月日	平成31年2月6日
開催時間	13:00～15:20
開催場所	東京都小金井市前原町3-33－25　小金井市商工会館
主催者	NPO法人多摩住民自治研究所
研修会等の名称	議員の学校
講師等の氏名等	講義1 『財政破綻に向かう?アベノミクスに未来はあるか』立命館大学教授　森　裕之氏
内容・結果等	①異常な債務負担…日本の債務比率は220%超にのぼり、第二次世界大戦直後の水準を超えている。先進国が平時ににGDPの200%越える債務を負ったことは歴史上初めて。その一方で、金利水準はほぼゼロ近傍にある。 ②不公平な税制…大企業への優遇税制措置や輸出大企業に対する消費税還付金(金塊の密輸事件) ③アベノミクスと財政赤字…アベノミクスとは異次元の金融緩和で超低金利と円安を生じさせ、インバウンドの増加やバブル的な経済活動。これまでの貸出業務では銀行が成り立たない。 ④日本財政は破綻するのか…短期的には、日本政府や経済に対する信用が失われない限り、その可能性は小さい。中長期的には、財政再建をすることなく政府債務が増え続けていけば、日本の政府や経済への信用がなくなり、財政破綻が起きることが想定される。 ⑤高率インフレの発生は通貨価値の暴落⇒インフレ沈静化のために、政府は社会保障の大幅削減や大増税で財政改革を行わざるを得なくなり、国民生活はますます困窮する。 ⑥消費税を増税すれば…平均所得水準の低迷、名目GDPの低迷、税収総額の低迷、給与水準の低迷 ⑦主な税制改革案…高所得部分の税率引き上げ、法人税率の引き上げ、内部留保課税、金融資産課税強化等
	感想　日本一わかり易い財政の話と自称され、国家財政を家計の話にたとえて話をされるので理解し易かった。このままでは高率インフレ=貨幣価値の暴落による債務(借金)の棒引きにならざるをえない。そして、社会保障等の大幅な削減や大増税により我々国民の生活はますます困窮していくのではないかと危惧される。講師の森先生は、消費税増税よりも不平等税制の改革が先決であると喝破された。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		28,000
	旅費・宿泊費		38,560
	宿泊費		11,000
	振込手数料		
	合　計		77,560

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

№2　　嬉野市議会議員　　山口　忠孝

開催月日	平成31年2月6日		
開催時間	15:35～17:55		
開催場所	東京都小金井市前原町3-33－25　小金井市商工会館		
主催者	NPO法人多摩住民自治研究所		
研修会等の名称	議員の学校		
講師等の氏名等	講義2 『2019年度政府予算と地方財政の課題』立命館大学教授　森　裕之氏		
内容・結果等	①消費税増税による幼児教育の無償化と社会保障の充実(子ども子育て・医療・介護・年金） 幼児教育・保育の無償化、介護人材の処遇改善、待機児童の解消等		
	②防災・減災、国土強靭化のための3ヶ年緊急対策、3年間の事業規模は概ね7兆円 国庫補助金の補助率が1/2の場合自治体の実質負担率は事業費全体の1/4		
	③公共施設等の適正管理の推進…公共施設の縮減や地域のコンパクト化で財政コストの削減。 事業の地方債90%のうち後年度50%交付税措置		
	④消費税率引き上げへの対応(臨時・特別措置）ポイント還元、低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券、住宅購入者等に対する支援		
	⑤水道・下水道事業の広域化等の推進…・事業の継続維持のため。人口減少の時代に老朽化した配管や施設の整備を行うには膨大な資金が必要		
	⑥まち・ひと・しごと創生事業費の確保…地方創生推進交付金。第1期5年目の総合戦略の最終年としての仕上げ。2020年度から始まる次のステージに向けた検討開始		
	感想　講師の森氏は、第一講義に引き続き、２０１９年度政府予算を分析しながら、地方自治にどのような方向性を国が示しているのかわかり易く話をされた。特に交付税措置率の高低は、国が力点をどこに置いているのかが見分ける基準となるとの話には刮目させられた。さらに、縮小都市と地域包括ケアシステムの政策は原理的に矛盾をするが、自治力を発揮してまちづくりに努めるべきだと激励された。自治体は様々な住民や民間の存在を元に成り立っているので、その地域独自性を活かしたまちづくりが今後求められてくるとの話だった。また、子孫に引き継がれるまちづくりのビジョン(展望）の確立が重要であると力説された。新幹線を活かしたまちづくりを進める本市にとっても将来のビジョンを明確にもたなければいけないのではと感じた。		
上記活動に要した経費	経　費　の　内　容	支　　払　　先	金 額（ 円 ）
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合　　計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

№3　　嬉野市議会議員　　山口　忠孝

開催月日	平成31年2月7日
開催時間	10:10～12:30
開催場所	東京都小金井市前原町3-33－25　小金井市商工会館
主催者	NPO法人多摩住民自治研究所
研修会等の名称	議員の学校
講師等の氏名等	講義3『2019年度社会保障関係予算と市民の暮らし』元日本福祉大学教授　石川　満氏
内容・結果等	①今後の社会保障制度改革の動向…全世代型社会保障は消費税を10%にするためのキャッチコピーに過ぎず、社会保障の充実に充てられるのは1%で今後も社会保障給付費の伸びは抑制されると喝破された。
	②新経済・財政再生計画に基づいた基盤強化。医療費負担軽減のため各種報酬を改定。増税分を活用し低所得者の介護保険料の軽減化、年金生活者支援給付金の支給、幼児教育・保育の無償化や介護人材・保育士の処遇改善等
	③国民健康保険制度の都道府県化問題…年齢構成が高く、医療費水準が高い。所得水準が低い。保険料負担が重い。保険料の収納率が低い。一般会計繰入・繰上げ充用。※国の負担金等を増額する以外に抜本的な解決方法は無い
	④幼児教育・保育の無償化と市町村の財政問題…2019年度の財源は全額国負担となるが、2020年度からは市町村負担も生じるので財源の検討が必要。待機児童の解消や保育士等の確保、質の充実が必要である。
	⑤市町村や議会の在り方が大きく問われてくる…日常生活すべての面に「政治」が関わっていることを深く認識することが必要。社会保障とその財源についての調査研究活動が重要(特に市町村に向けての取り組みについて)になってくる。
	感想　市町村議員の活動や社会保障を推進するための協議会等の活動に期待するとの言葉をかけられたが、地方からもっと行動をおこすべきだと叱咤激励された。また、市町村長や市町村議会から国へ向けて、社会保障制度の改悪に反対して財源の確保の要求活動をおこすべきであるとの主張であった。それには国の施策や社会保障の仕組みや実態をしっかり勉強しなければいけないと再認識させられた。

	経費の内容	支払先	金額（円）
上記活動に要した経費	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合　計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

№.4　　嬉野市議会議員　　山口　忠孝

開催月日	平成31年2月7日
開催時間	13:30～15:20
開催場所	東京都小金井市前原町3-33－25　小金井市商工会館
主催者	NPO法人多摩住民自治研究所
研修会等の名称	議員の学校
講師等の氏名等	講義4『憲法原則から考える財政民主主義と地方財政』議員の学校　校長　池上　洋通氏
内容・結果等	①日本国憲法の定める国家の基本目的と政府の基本的任務.…戦略不保持の下での恒久平和の実現、すべての個人に対する基本的人権の実現
	②日本国憲法による国家の統治機構とその展開…最高意思決定機関としての中央政府(国会・内閣・司法)と地方自治政府(議会・首長・直接民主制の多元的)
	③日本国憲法の地方自治規定…地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。
	④戦時・統制体制の法制から…国家総動員法や国民の徴用、言論や報道・経済の統制、町内会や部落会・隣保班の組織、国民健康保険制
	⑤財政についての原則とその展開…財政とは政府機関による経済活動のことである。各種経済活動の統計は国民のためにある。
	⑥経済の民主主義と財政活動…個人間における経済格差の縮小、地域間における経済格差の縮小、団体・企業間における経済格差の縮小、いわゆる富の公平な再分配をめざすべきである。
	感想 「地方自治体こそ人々の人権を具体的に実現するところであり、市町村における財政が最も豊かでなければならないのであるが、そのことに逆行する流れがつくられ、自治体の現場で重大な課題に直面している。憲法原則から財政全体の原則を確認し、国の財政と地方財政の基本的関係を正しく認識し、地方財政のありかたについて考えたい」との自論を展開されたが、馴染みがないだけに難しく感じられた。「財政がわからず、ボオーとしているとチコちゃんに叱られるよ」と冗談交じりに言われたが、笑えないと反省させられた。 ※尚、4つの講義終了後17:30頃まで、講義に対する質疑応答がなされた。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。